

小児がん拠点病院アドバイザー・ボードについて

1. 小児がん拠点病院の役割

- (1) 診療：地域における小児がん医療及び支援を提供する中心施設として、地域全体の小児がん医療及び支援の質の向上に資すること等。
- (2) 臨床研究：地域の小児がんに関する臨床研究を主体的に推進すること等。
- (3) 教育・研修：診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関するカンファレンスや勉強会の開催等。
- (4) 情報発信：小児がん患者及びその家族等に対し必要な情報提供を行うこと等。

2. 小児がん中央機関の役割

- (1) 小児がんに関する相談支援の向上に関する体制整備を行うこと。また、小児がん患者・経験者の発達段階に応じた長期的な支援のあり方について検討すること。
- (2) 小児がんに関する情報を収集し、広く国民に提供すること。
- (3) 全国の小児がんに関する臨床試験の支援を行うこと。
- (4) 小児がん拠点病院等に対する診断、治療などの診療支援を行うこと。
- (5) 小児がん診療に携わる者の育成に関する国内の体制整備を行うこと。
- (6) 小児がんの登録体制の整備を行うこと。

3. アドバイザー・ボードの役割

小児がん拠点病院及び小児がん中央機関（国立がん研究センター、国立成育医療研究センター）の活動に対し助言を行う。

4. メンバー構成（案）

- (1) 小児がん診療の専門家（学会等から）
- (2) 看護関係者（学会等から）
- (3) 医療を受ける立場の方（「がんの子供を守る会」等から）
- (4) 教育関係者
- (5) マスコミ関係者